

**YA
通信**

№65 2015年9月号
春日井市図書館発行

YA(ヤングアダルト)世代=10代のみなさんのための読書情報誌です。ご紹介する本は特に記載がない限り、図書館3階YAコーナー所蔵です。



『新・天文学入門』 ^{みねしげ} 嶺重 ^{しん すずき} 慎 鈴木 ^{ぶんじ} 文二/編著
岩波書店 44/シ/15

夜空には沢山の星が瞬いています。中でも月は地球に一番近い星で、周りを明るく照らしてくれます。しかし、月の明かりは満月で-12.7等、半月でも-10等前後に達し、月齢が満月に近いほど、他の星が見えづらくなり星空観察の妨げとなってしまいます。宇宙の成り立ちから終わりまで、天文学は話題が尽きることはありません。まずは、本に載っている写真を手がかりに、星空を見上げるところから初めてみましょう。



名作だからばこ



『嵐が丘 上・下』 エミリー・ブロンテ/作 ^{かわしま ひろみ} 河島 弘美/訳
岩波書店 933/ア/03-1・04-2 4階一般

紹介が不要なくらいとても有名な恋愛話の一つです。とある屋敷に引っ越してきた若者が、その屋敷の持ち主に会いに行ったところ、どうもその一家の様子が変わったということで、不思議に思い古女中に主人の話を聞くところから話は進んでいきます。

この話にはたくさんの登場人物がでてきて、それらのどの人物と共感できるかで作品に対するイメージが大きく変わると思います。誰と共感できるかはあなた次第ですが、もしかして自分の恋の結末も…、なんて考えてながら読むのも面白いかもしれませんね。

外国語

平成23年より小学校での「外国語活動」が必修化になりました。また2020年には東京オリンピックが開催されるということで、巷には外国語があふれています。そうすると、読んでみたい、話してみたいと思うこともあるでしょう。そんなとき、ただ参考書に飛びつくのもいいですが、今回紹介する本を読んで面白さを感じるというのはどうでしょうか？

『にぎやかな外国語の世界』 黒田 龍之助/著 白水社 804/ニ/07

「外国語」、一言で言い表していますが、皆さんはこの外国語、どれほどご存知ですか？英語は授業でやるから知っている？他には？中国語にフランス語、イタリア語などもありますね。じゃあ、フランス語とイタリア語って何が違うの？どちらも同じ文字で書いてあるし？フランスで使われているのがフランス語で、イタリアで使われているのがイタリア語？いえいえ、たとえばスイスという国ではフランス語もイタリア語も公用語として使われています。それではいったい何が違うのでしょうか？

この本は、様々な外国語について、見た目や音、表現などから、違っているところや同じところを分かり易く教えてくれます。言葉の楽しさや不思議を感じてみましょう。



『ミステリではじめる英語100万語』 酒井 邦秀 佐藤 まりあ/共著 コスモピア

837,5/ミ/06

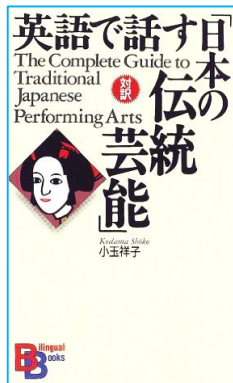
春日井市図書館には、沢山の洋書があります。でも、沢山ありすぎてどの本を選ぼうか悩んでいませんか？そんな時この本を使えば、自分のレベルに合った洋書を見つけることができます。また、レベルごとに本を読む際のアドバイスが紹介されているので、これから洋書にチャレンジする方にもおススメです！！洋書は読んでいてもっと難しい本を読んでみたいという皆さんも、これからチャレンジする皆さんも、一緒にこの本で自分に合った本を見つけてみましょう！！



『英語で話す「日本の伝統芸能」』 小玉 祥子/著 講談社インターナショナル

772,1/エ/00 4階一般

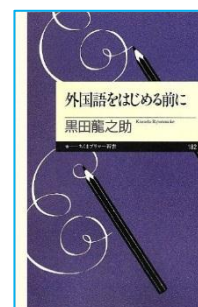
これから先、海外に行く機会もあると思います。「侍に会った事はあるの？」と聞かれるなど、現地の人との会話で、日本についての話題があがる事があるかもしれません。自国の歴史や文化を知る事で、会話がうまく運ぶのではないのでしょうか。しかし、改めて自国の文化を英語で表現するのは、なかなか難しいですね。こちらの本は、対訳になっていますので、分からない所は見比べながら英語で何と言うのか直ぐに分かり、かつ日本固有の伝統芸能への理解も深まるので、一石二鳥です。会話を盛り上げるための面白雑学も紹介されています。



『外国語をはじめる前に』 黒田 龍之介/著 筑摩書房 80/カ/12

この本は、外国語を勉強するという事はどういうことなのか、ということについて書かれています。外国語を勉強するという事は、どういったことを勉強するという事なのか。ただ話せるようになればいいのか、検定試験を合格すればいいのか、はたまた留学すればいいのか。もちろんこの本には、これが絶対、と書かれているわけではなく、凝り固まった考えはやめたほうがいいよ、といった感じなので、ここに書いてあるのが正解だと思込むのもまたよくないのだろう。

最後に一つ。「外国語学習はチャラくていい」そうです。どういうことか知りたい人は読んでみてください。





生物



『先生、子リスたちがイタチを攻撃しています!』

こばやし ともみち
小林 朋道 / 著 築地書館
481.7/セ/09

「先生」シリーズの第3弾です。
登場人物は、「動物を見せたら喜ぶ」鳥取環境大学の小林先生と学生、それに個性的な動物たち。野生動物の研究というとなかなか難しそうな感じがしますが、小林先生のコミカルな語り口のおかげでぐいぐい引き込まれていきます。
動物たちの予想外の行動には、動物が苦手な人でもきっと可愛く思えるんじゃないでしょうか。大学は毎日、動物珍事件でドタバタ賑やかです。

ボランティアさんのオススメ本 (アリスの会さん)

『イソップを知っていますか』 あとうだ たかし 阿刀田 高 / 著 新潮社

991.7/イ/09 **4階一般**



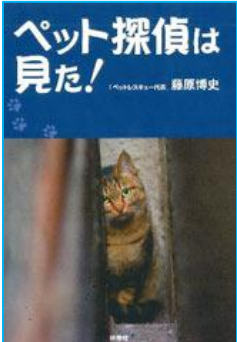
皆さんイソップを知っていますか? 「ああ、あの『アリとキリギリス』のね」お話をご存知の方は殆どでしょうが、イソップ自身のことは殆どの方がご存じないのでは。
イソップさんは、紀元前にギリシャで誕生された…そして元奴隷だった…と、ここまででも驚きの連続ではないでしょうか。
イソップさんと、イソップ寓話の紹介とを通して、現代に生きる私たちへのメッセージを分かり易く阿刀田さん流に著されています。ぜひご一読を!

はたらくBOOK
毎号一つの職業に関する本をとりあげます。



ペット探偵: ペット探しなどを中心に行う探偵の呼称

『ペット探偵は見た!』 ふじわら ひろし 藤原 博史 / 著 扶桑社 645.6/へ/13 **3階一般**



「ペット探偵」という職業を聞いたことがありますか? 迷子になったペットを探す仕事ですが、著者の藤原さんは犬猫はもちろん、タランチュラや蛇まで、山奥でもマンホールの中でも探しに行くので、その活動は探偵というよりもレスキューといった感じです。
迷子になったペットを地道に探すので、ただ動物好きだけではやっていけないけど、やっぱり好きでないとやっていけません。この本を読むとその大変さを痛感します。
迷子になったペットと人間を取り持つ藤原さんの活躍をぜひ読んでみてください。



YA担当イチオシ!

『時の番人』

ミッチ・アルボム/著 甲斐 理恵子/訳 静山社 933.7/ト/14

4階一般

はるか昔、ドールという男が地上で初めて時間を計りました。しかし、時間を計ったことにより人々の生き方は大きく変化し、彼は『時の番人』として生きていかなければならなくなったのです。時間は私たちの生き方をどのように変えてしまったのでしょうか。時間は、時代の流れと共に、より細かく刻まれるようになり、私たち人間は時間を管理することもできるようになりました。しかし、その流れと共に失われつつある“何か”に皆さんは気づいているでしょうか。この本は、その何かを見つけるきっかけになるかもしれません。

第54回「青少年によい本をすすめる県民運動」推薦図書

- 『六千人の命を救え!外交官・杉原千畝』

白石 仁章/著 PHP研究所 28/ロ/14 3階児童

- 『伝説のエンドーくん』

まはら 三桃/著 小学館 913/シヨ/14

YA(ヤングアダルト)コーナーって?



「〇〇について調べたい!」
「△△の本はどこ?」など、
本に関する相談や探し物は
職員に気軽に聞いてみてね。

図書館3階雑誌コーナーのとなりです。たとえば、こんな本があります。

- ◎10代向けの小説・読み物
- ◎勉強・進路・職業に関する本
- ◎いろんな悩みの解決に役立つ本
(学校生活・友だち・恋愛・家族・心と体 など)
- ◎自分の世界を広げるための本(趣味やスポーツ)

春日井市図書館

春日井市鳥居松町5-44 TEL(0568)85-6800

<http://www.kasugai-lib.jp>

ケータイサイトはQRコードから→

